

**強み**  
交通利便性が高い

東北、秋田、山形、上越、北陸、北海道方面からの新幹線が乗り入れるハブステーション。東京西部から東北方面へのアクセスは都心経由より良く、JRの乗降客数は全国でも9番目を誇っています。

**弱み**  
暫定整備の駅前広場

東口駅前広場は暫定整備のままになっていて、バス・タクシーの流入が難しいのが現状。また、通行量に対して駅周辺の歩道の幅は狭く、市民が憩える広場が少ないといった課題があります。

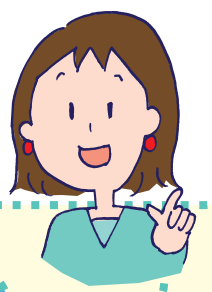
交通の便が良いという利点があるから駅前広場がもっと良くなるとイイナ



# 大宮のイママデとコレカラ。運命の10年！

東日本のターミナル駅として大きな変貌を遂げようとしている大宮。国の首都圏広域地方計画の中で将来を決するとされる「運命の10年」に向けた動きについて見てみました！

まちづくりINDEX ナビゲーター コレカラさん



## 魅力的な東日本の玄関口になるために！

今後、東日本の玄関口としての存在価値を高めていくために「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」を検討しています。人々が憩うことができる交流空間や駅前広場の整備、歩行者回遊性の向上や駅機能の高度化につながる新たな東西通路の整備などについて、様々な議論を重ねています。

また大宮駅周辺地域では平成29年8月、都市再生の拠点として、重点的に市街地の整備を進めるために「都市再生緊急整備地域」の指定を受けました。

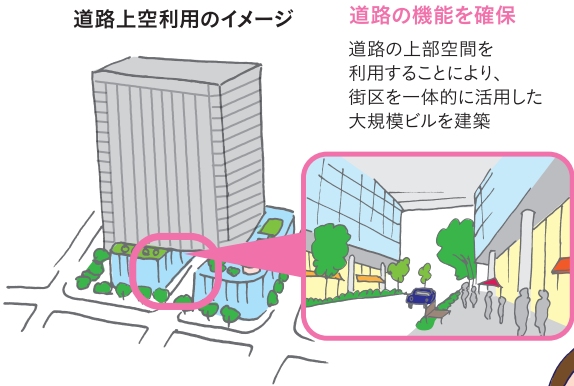


第1回大宮グランドセントラルステーション推進会議合同部会での検討の様子

# 未来

### 都市再生緊急整備地域ってなんだろう!?

民間を中心とした都市開発事業などを通じて、市街地の整備を早急に進めるために政令で指定される地域のことです。指定を受けることで、民間事業者が一定要件を満たす都市開発事業を行う場合、容積率や高さ制限が緩和されるほか、道路の上空空間を利用して建築物を建てるのが可能になるなど、自由度の高い計画ができるようになります。さらに、金融・税制などの面でも支援を受けることができるようになり、民間活力を生かしたまちづくりの展開が可能となります。



変わっていくこれからの大宮に期待!



## 高崎線から東北線への分岐駅として誕生

# 過去

明治時代、鉄道建設を進める動きの中で現在の高崎線にあたる区間が完成。その後東北本線(宇都宮線)の敷設と共に、高崎線からの分岐駅として明治18年に大宮駅が開設され、駅の誕生で街は大きく発展しました。さらに、大宮に鉄道工場が建設されたことで鉄道のまちとして広く知られるようになりました。

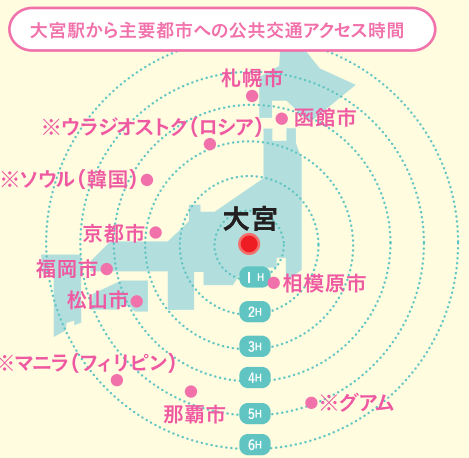
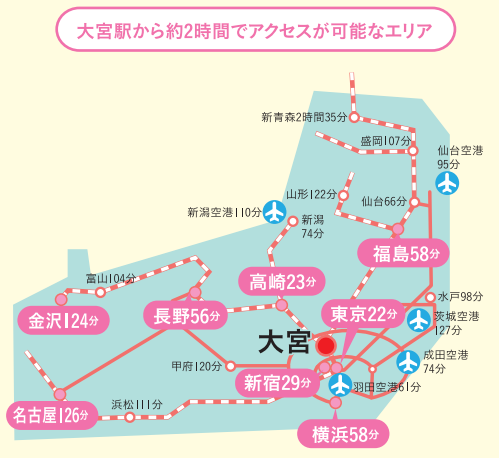


開設当時の大宮駅

まちの発展は駅の開設と大きく関わっているのね!

## 便利なアクセスが大宮駅の強み!

その後は人口の流入と電車の乗り入れを相互に繰り返し、JRの新幹線6系統、在来線7系統をはじめ、東武アーバンパークラインやニューシャトルが停車するターミナル駅へと変貌してきました。西日本の玄関口となる品川と並び、東日本からのヒト・モノの集積・交流拠点であり、東日本の玄関口として重要な役割を果たす必要があることから、駅前の再整備が求められています。



※海外については、空港での待ち時間等は含んでいません。

# 現在